

この会報は行政区等を通じて青少年育成牛久市民会議に賛同された会員の会費により製作されています。

会報 ふれあい

No.67

令和3年7月1日

発行・編集 青少年育成牛久市民会議

事務局 生涯学習課 TEL.871-2301



誰もいない鯉まつり会場ですが、鯉のぼりは元気に空を舞っていました。

毎年5月は五月晴れのもと、青い空をバックに色とりどりのたくさんの鯉のぼりが空を泳いでいました。昨年は鯉のぼりの掲揚も中止しました。コロナウイルスの猛威は依然として続いており、例年通りの行事は難しい状況です。

今年は、少しでも行事ができるよう役員会で検討しました。まず、鯉まつりです。例年市役所西側近隣公園で開催する鯉まつりは中止しましたが、4月27日から5月7日まで、鯉のぼりの掲揚と保育・幼稚園の園児及びポーンイスカウトの皆さんが作成したパネル画の展示を行いました。中央生涯学習センターにもかわいい鯉が多数泳ぎ、センターを訪れる方々の目を楽しませてくれました。

園児が作成したパネル画はセンターの一階と二階の廊下に展示しました。そこを通る方々が足を止め、作品に見入っていました。例年以上の力作ぞろいで、すべての作品に金賞を贈らせていただきました。園児たちの内なるパワーが爆発して、作品に現れたのではないのでしょうか。

夏のキャンプや親子ふれあい教室など今後の予定については、規模は小さくても、新しい形態で実行できないか模索しています。

逆説的に考えると、コロナウイルスは我々に、試練だけでなく新しい

課題も提供してくれたのではないのでしょうか。今この瞬間こそ、私たちのあらゆる叡智を総動員して、コロナによる活動の停滞を乗り越える必要があります。

巷の噂によれば、市内の高校生が発表の場を探しているとのこと。中学生や高校生の部活動や自主活動には、鯉まつりなど青少年育成市民会議の活動の場で発表してもらうにふさわしい成果がかなり眠っているのではないのでしょうか。今後、小中高校生にさらに多く参加してもらい、交流の場として、もう一段フェーズを高めていきたいと思えます。その際、学校の先生方の手をできるだけ借りることなく、実行できる工夫が必要で

す。子供たちの生きる力を育てるには、地域の力が必要です。牛久市ではすべての小中学校に学校運営協議会が設置されており、まだ模索段階ですがこれからの発展が期待されています。青少年育成牛久市民会議でも、地域の様々な才能を発掘し、それを表現してもらえ体制づくりが期待されています。今後、学校運営協議会なども協働して、子供たちの成長に少しでも関われるよう、工夫していきたいと考えます。皆様の、ご協力をよろしくお願いいたします。

再び活動再開に向けて

アフターコロナの新しい発展へ、小中高校生の出番を増やそう

会長 田井鉄男

コロナ禍を越えて— 夢・希望・想い・願い パネルに込めた幼児たちのこころ

今年の鯉まつりは市役所西側近隣公園での祭り行事は取りやめましたが
幼児のみなさんが制作したパネルを中央生涯学習センターに展示しました。



牛久市立下根保育園

オリンピックでやってみたいことを絵にしました。丸く赤いカラーポリを各自聖火台に刺し、「火が点いた」と喜んでいました。



牛久市立つつじが丘保育園

みんなで相談してハートの芝生と虹の滑り台で遊ぶ自分たちを表現。大きなパネルにわくわく楽しく描きました。



社会福祉法人青洲会 ひたち野うしく保育園つくしんぼ

みんなで協力し、たくさんの夢を表現しました。恐竜の部分は、友だちと一緒に図鑑を見て、観察しながら制作しました。



牛久ふれあい保育園

「ミリーのすてきなぼうし」という絵本を読み、こんな帽子があつたらいいなと想像し制作しました。



上町ふれあい保育園

毎日元気いっぱいの子供たちの様子を表したくて、飛び出すようなイキイキとした鯉のぼりに仕上げました。



社会福祉法人童心会 牛久みらい保育園

ローラーを使ってみんなの夢が広がる大空を描き、ちぎり絵で空をグングン上がっていく気球を表現しました。



ひたち野牛久幼稚園

子供たちの夢・希望・想い・願いを乗せ、鯉がどんなことにも立ち向かって“昇り上がる”イメージで制作しました。風車が風で回るように工夫しました。



牛久市立第一幼稚園ひまわり組

クラスで話し合い、鯉が龍に変わることを知り、染紙で鱗を作り、みんなで協力して仕上げました。



日本ボーイスカウト牛久第4団

折り紙の鯉のぼりが風で元気にゆれ動くように工夫しました。来年は鯉まつりが出来るといいですね。



日本ボーイスカウト牛久第1団ビーバー隊

折染めで鱗を1枚1枚作った「でっかい鯉のぼり」と、野口飛行士(#挑戦を止めない)とスカウトたちが宇宙遊泳!



牛久市立栄町保育園

みんなで遊園地に行きたい!話し合ってイメージを決め、のびのびと絵を描きました。子供たちの夢と希望が詰まっています。



牛久市立向原保育園

鯉のぼりの鱗の部分に多色の折り紙を折って貼り、立体感を出しました。



牛久ひかり保育園

自分の夢についてイメージを膨らませ、気球に乗せました。マスキングテープで仕切りを作り、絵の具で色付けをしました。



つつじが丘ふたばランド保育園

鯉のぼりに、大きくなった自分に乗せたいと話し合い、将来の姿や叶えたいことに想いを馳せながら描きました。



奥野さくらふれあい保育園

去年の発表会で演じたピーターパン。年長児と一緒にいき、憧れが膨らみました。子供たちにとってピーターパンは特別な物語です。



牛久保育園

ジップロックを使つての作品。将来の夢を「鯉のぼり」に込めました。卒園時に持ち帰れるようにしました。



牛久さくら保育園

将来の夢をシャボン玉に乗せて飛ばした作品です。折り紙は切り方や貼り方に性格が表れ、個性的で素敵に仕上がりました。



牛久めぐみ保育園

将来の夢を書いた風船が持てるように片手を挙げて描いたり、自分で名前を書くのをがんばりました。



牛久市立第二幼稚園

子供たちがそれぞれ自分の手のひらから氷の魔法で好きなものを出している所にご注目下さい！



認定こども園フレンド幼稚園

子供たちの手形を鯉のぼりの鱗に見立てました。夢や希望の詰まった小さな手が、鯉のぼりのように成長して行って欲しいです。

編集後記

パネルに付けていただいたコメントを一つ一つ丁寧に読んでいくと、子どもたちの「夢・希望・想い・願い」だけでなく、園児たちに自分を上手に表現させようと努力している先生たちの愛情も確実に伝わってきます。

鯉まつりでは園児たちは舞台上で歌なども披露してくれますが、先生方と相談すれば、そのほかにも園児たちが自分を表現する場を設けてあげることが出来るのではないかと。コロナ禍で鯉まつりは2年続けて中止されましたが、心の中には反って前向きに考える部分も生まれています。



学校法人沼田学園牛久幼稚園

好きな色の折り紙を選んで、鱗に見立てたカブトを折りました。一人一人が一生懸命に折って仕上げた作品です。